

(別添7)

事業所名 グループホーム 敬天

2 目標達成計画

作成日: 平成31年3月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	(思いや意向の把握) 自分の思いや希望をうまく伝えられない利用者 がいるのではないかな	一人一人の思いや希望を、日々の会話の中 で引き出していく。それぞれが自由に安心して 暮らせる環境を整え、寄り添っていく。	生活歴や家族の思い、日々の生活の中で得た 情報を、ミーティングやカンファレンス、伝言表な どで随時情報を共有する。一日必ず一人一人と 向き合って話をし記録をしていく。不安に思っ ていることや行きたいところ、会いたい人など、思 いに沿った支援をしていく。	12ヶ月
2	29	(地域資源との協働) 地域資源を十分に活用できていないのではない かな	地域資源を活用し、社会とのつながりの中で 安全で豊かな暮らしを楽しむ。	地域の小・中学校、幼稚園との交流、地域の行 事に参加する。併設施設や他の施設とも交流し ていく。地元老人会との交流会を計画し、実施し ていく。地域のボランティアとの交流の機会を多 くしていく。	12ヶ月
3	13	(職員を育てる取り組み) 施設内研修、グループホーム連絡協議会での 研修、個々の研修など受講しているが、介護力 向上のため、更に研修が必要なのではないかな	認知症ケアの知識と介護力の向上をめざ す。	グループホーム交流研修、施設内研修、外部の 研修への参加、また、認知症ケアの専門的知識 を向上のための研修を、できるだけ全職員が受 講する。個人別の研修計画を作成し、計画に 沿って研修を実施していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。